

- ・ 消防機関からの物資提供を受けるにあたり、車両及び人員を確保し、千葉県（消防学校・船橋市）に物資受け取り及び搬送に従事した。
- ・ 危機管理課の人員不足を補うため、災害対策本部補助員 1 名を約 2 カ月間にわたり派遣した。
- ・ 災害対策本部では災害対応を行う人員を確保する必要が生じたことから、消防職員延べ約 300 人が様々な災害対応に従事した。

(3) その他

- ・ 災害対策本部で把握している情報（停電情報、被災状況、避難所開設状況、救援物資、応援職員状況など）の伝達が遅く、市民からの苦情対応に苦慮した。防災無線やHP、SNS等で市民向けに提供した情報が、事前に職員に共有されなかったため、市民からの問合せで初めて知る情報もあった。職員各々が情報確認できる体制の整備が必要。
- ・ 発災直後は、1階窓口には災害に関する問合せのため多くの市民が来庁する。初期対応として、1階に相談窓口の開設（または職員配置）の検討が必要。
- ・ 防災行政無線が聞き取れないとの苦情が多かった。また、HPやメールを見ることができない市民も多いため、市庁舎の入口や総合案内に紙媒体で災害情報を掲示するなどの情報提供方法の検討が必要。
- ・ 今回の災害では、1階各課では必要だと思われる情報を模造紙やホワイトボードに手書きして掲示を行った。しかし、刻々と更新されていく情報が反映されないことも多くあり、正確な情報伝達のためのルールをあらかじめ決めておくべき。
- ・ 被災していない職員も多かったこと、東京電力が当初の楽観的な発表を行ったことなどの要因で、災害対策本部とその他の職員との間でかなりの温度差が見受けられた。
- ・ 現地災害対策班の設置について、発災後 1 週間が経過した時点で設置されたが、現状は、避難所を中心として各種対応に迫られる状況にあった。今後は、避難所運営と現地災害対策班を切り離して、対応したほうが、スムーズに現地対応に当たることができると考えられる。

- ・ 現地災害対策班が設置されたことにより職員が固定されたことから事務が滞ることなく職員の負担が軽減された。
- ・ 小糸地区の電力が復旧しつつあることに対し、清和地区では復旧の見通しが立たない状況であったことから、対策班は小糸公民館に設置しても良かったのではと考える。
- ・ 現地へ派遣された職員の多くが現場未経験であったことから、研修等により意識付けを行うとともに、あらかじめ職員を定めておく必要がある。
- ・ 地区内に住む職員を応援職員として配置したほうがよい。土地勘のある職員がいることにより、業務進捗がよくなると考える。
- ・ 現地災害対策班の位置づけや事務などを明確にし、職員はある程度固定化したほうが望ましい。
- ・ 各地区に現地災害対策班を設置することは、迅速な対応につながると考える。また、災害対策本部から班長（管理職）と班員を派遣し、班長の下に、行政センター、公民館の組織を置くことが望ましい。理由は、行政センター所長が現場で動くことで、自治会長とも連携が取れ迅速な対応が可能となるためである。
- ・ 自主防災組織が機能していたかどうかの検証が必要と考える。
- ・ 職員自身も被災者である。ライフラインが復旧していない地区に居住する職員については、十分な休息が取れるよう策を講じる必要がある。
- ・ 本市の基本的なデータが整備されていないと感じる。大字単位の地図データを基本として、市道、県道、国道、水道、電気等のデータがレイヤー単位で整備され、必要に応じて組み合わせて使えば情報収集、発信がスムーズになる。
- ・ 防災 Twitter 等がもっと積極的に情報発信をしていく必要がある。ネット上で出回るデマの火消しとしても有効である。

2 令和元年度の災害対応に関する職員アンケート

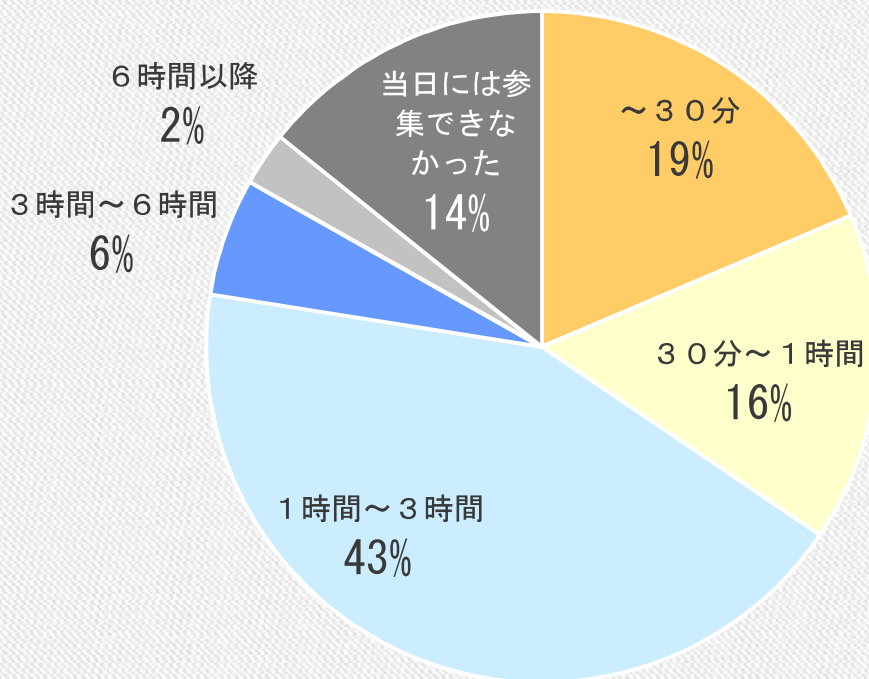
市職員へのアンケートを実施

実施期間 令和2年1月31日～3月4日

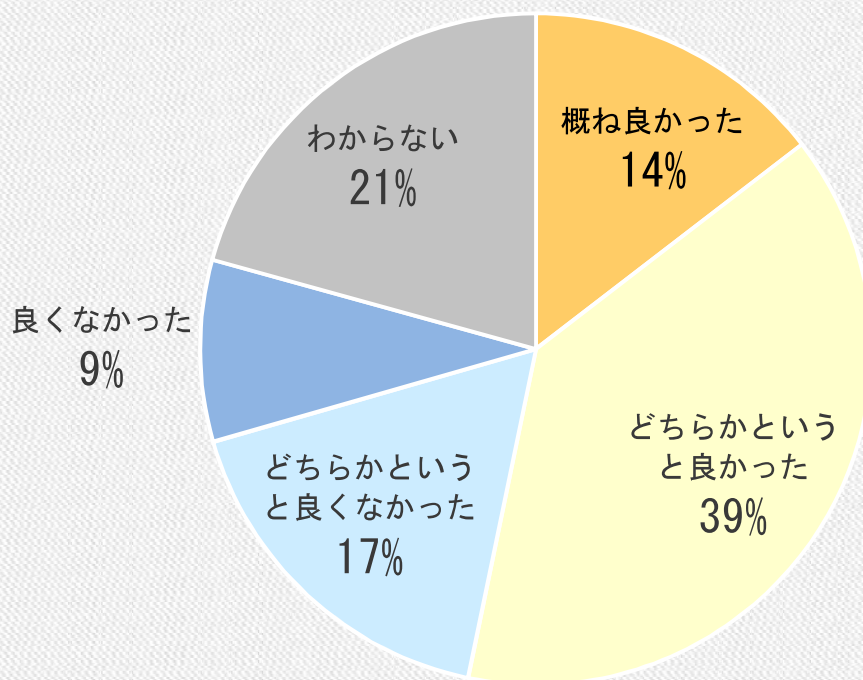
回収実績 対象者数 933名 回答数 618名 回収率 66.2%

No.	設問	回答	count	rate
1	発災した9月9日の午前5時47分に参集メールを発信しましたが、メールを確認したのは何分後でしたか	～30分	302	48.9%
		30分～1時間	133	21.5%
		1時間～3時間	127	20.6%
		3時間～6時間	22	3.6%
		6時間以降または未確認	34	5.5%
		合計	618	100.0%
2	実際に職場へ到着したのは何分後でしたか	～30分	115	18.6%
		30分～1時間	98	15.9%
		1時間～3時間	266	43.0%
		3時間～6時間	35	5.7%
		6時間以降	16	2.6%
		当日には参集できなかった	88	14.2%
		合計	618	100.0%
3	災害時マイチェックリストに記載した自分の担当任務はできましたか	よくできた	70	11.3%
		まあまあできた	280	45.3%
		あまりできなかった	174	28.2%
		全然できなかった	94	15.2%
		合計	618	100.0%
4	あなたは、今回のご自身の災害対応について、どのように評価しますか	概ね良かった	90	14.6%
		どちらかという良かった	239	38.7%
		どちらかという良くなかった	107	17.3%
		良くなかった	54	8.7%
		わからない	128	20.7%
		合計	618	100.0%

質問 2 実際に職場へ到着したのは何分後でしたか

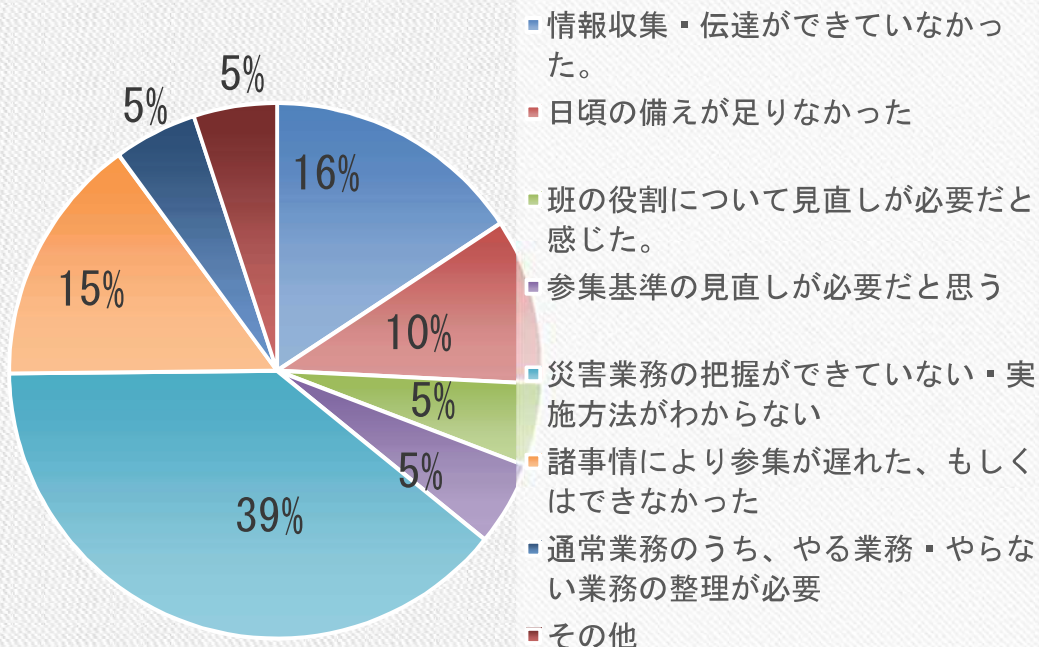


質問 4 あなたは、今回のご自身の災害対応について、どのように評価しますか

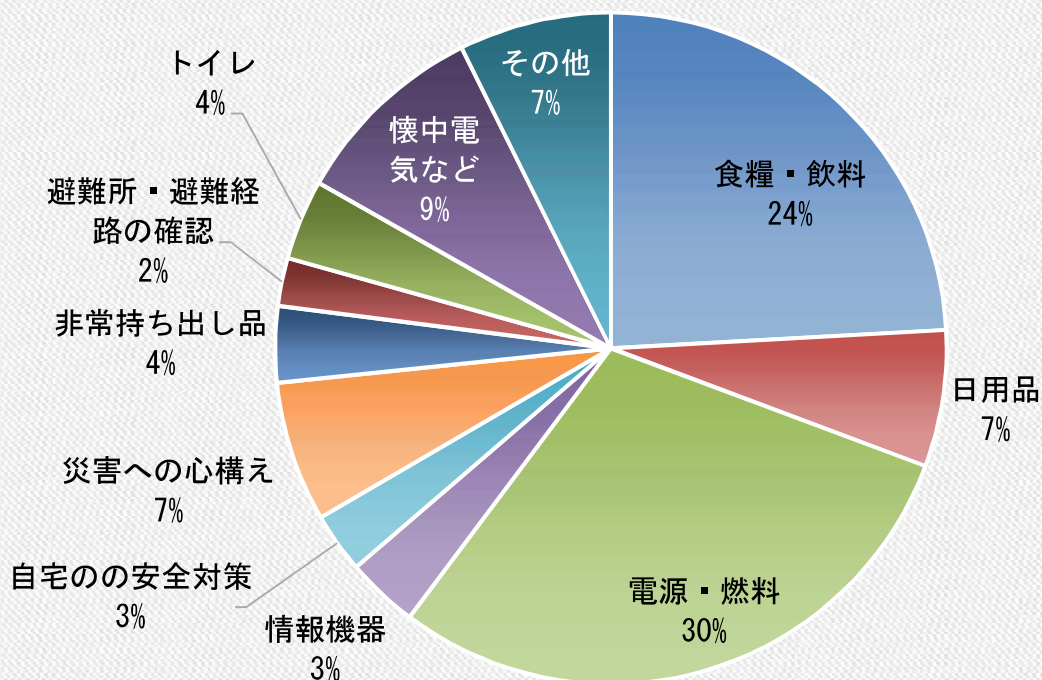


No.	設問	回答	count	rate
5	質問4で、「良くなかった」「どちらかというと良くなかった」と思われた対応について、教えてください	情報収集・伝達できていなかった。	25	16%
		日頃の備えが足りなかった	16	10%
		班の役割について見直しが必要だと感じた。	8	5%
		参集基準の見直しが必要だと思う	8	5%
		災害業務の把握ができていない・実施方法がわからない	62	39%
		諸事情により参集が遅れた、もしくはできなかった	24	15%
		通常業務のうち、やる業務・やらない業務の整理が必要	8	5%
		その他	8	5%
		合計	159	100%
6	あなたは、台風の関東への接近が報道されて以降、ご家族と災害対応(勤務)により不在になることについて会話されましたか	家族と話した	494	79.9%
		家族とは話していない	80	12.9%
		わからない・覚えていない	44	7.1%
		合計	618	100.0%
7	あなたご自身やご自宅の事前の備えについてお尋ねします	準備をしていた	350	82%
		準備をしていなかった	78	18%
		合計	428	100%
8	質問7で、足りていなかったと思われた備えや対応について、教えてください	食糧・飲料	125	24%
		日用品	34	7%
		電源・燃料	153	30%
		情報機器	18	3%
		自宅の安全対策	15	3%
		災害への心構え	35	7%
		非常持ち出し品	19	4%
		避難所・避難経路の確認	12	2%
		トイレ	20	4%
		懐中電気など	49	9%
		その他	38	7%
		合計	518	100%

質問5 質問4で、「良くなかった」「どちらかというと良くなかった」と思われた対応について

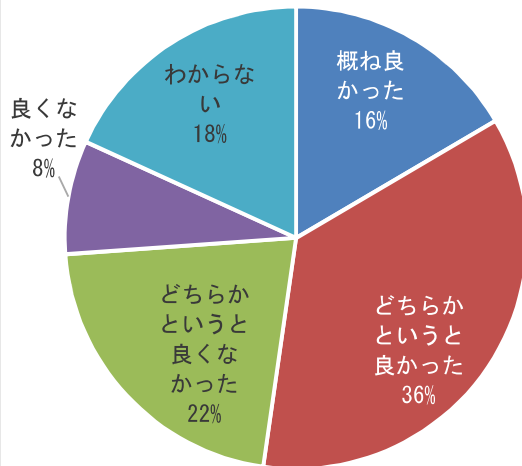


質問8 質問7で、足りていなかったと思われた備えや対応について

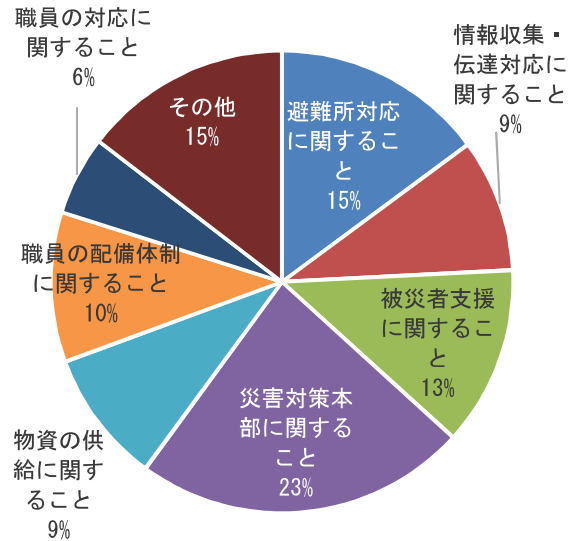


No.	設問	回答	count	rate
1	あなたは、君津市全体の対応について、どのように評価しますか	概ね良かった	102	16.6%
		どちらかという良かった	220	35.7%
		どちらかという良くなかった	133	21.6%
		良くなかった	49	8.0%
		わからない	112	18.2%
		合計	616	100.0%
2	質問 1 で、「良かった」と思われた点（業務内容等）について、教えてください	避難所対応に関する事	51	14.9%
		情報収集・伝達対応に関する事	32	9.3%
		被災者支援に関する事	43	12.5%
		災害対策本部に関する事	80	23.3%
		物資の供給に関する事	32	9.3%
		職員の配備体制に関する事	36	10.5%
		職員の対応に関する事	19	5.5%
		その他	50	14.6%
		合計	343	100.0%
3	質問 1 で、「良くなかった」と思われた点（業務内容等）について、教えてください	避難所対応に関する事	29	8.3%
		情報収集・伝達対応に関する事	72	20.6%
		被災者支援に関する事	13	3.7%
		災害対策本部に関する事	84	24.0%
		物資の供給に関する事	21	6.0%
		職員の配備体制に関する事	72	20.6%
		職員の対応に関する事	27	7.7%
		その他	32	9.1%
		合計	350	100.0%
4	質問 1 で、「こうすれば良かった」と思われる改善点について、教えてください	避難所対応に関する事	16	4.7%
		情報収集・伝達対応に関する事	84	24.7%
		被災者支援に関する事	8	2.4%
		災害対策本部に関する事	81	23.8%
		物資の供給に関する事	15	4.4%
		職員の配備体制に関する事	76	22.4%
		職員の対応に関する事	34	10.0%
		その他	26	7.6%
		合計	340	100.0%

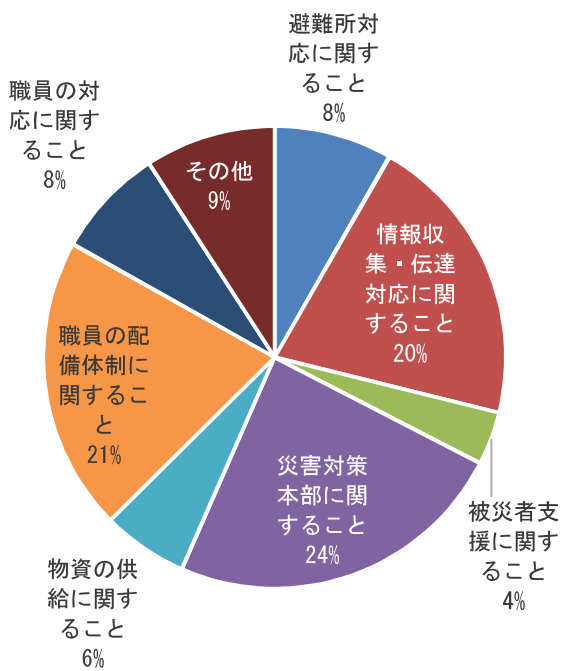
質問 1 あなたは、君津市全体の対応について、どのように評価しますか



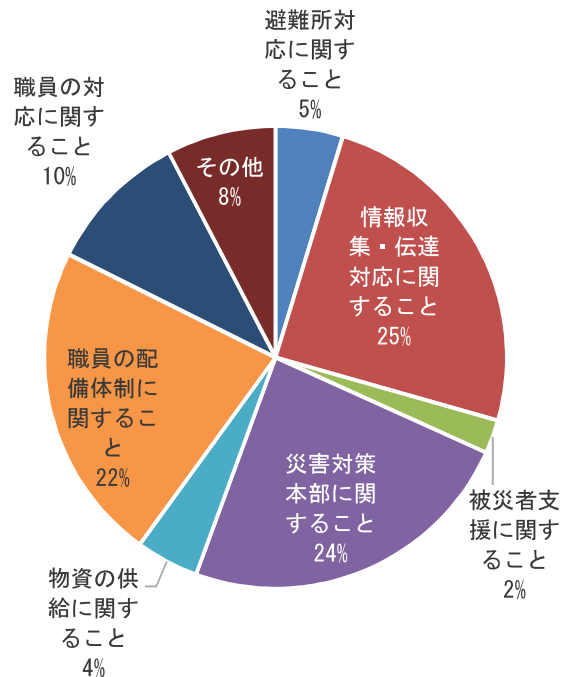
質問 2 質問 1で、「良かった」と思われた点（業務内容等）について、教えてください



質問 3 質問1で、「良くなかった」と思われた点（業務内容等）について

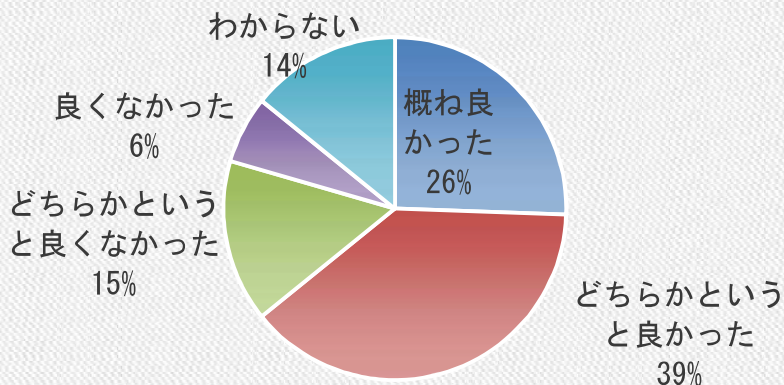


質問 4 質問1で、「こうすれば良かった」と思われる改善点について

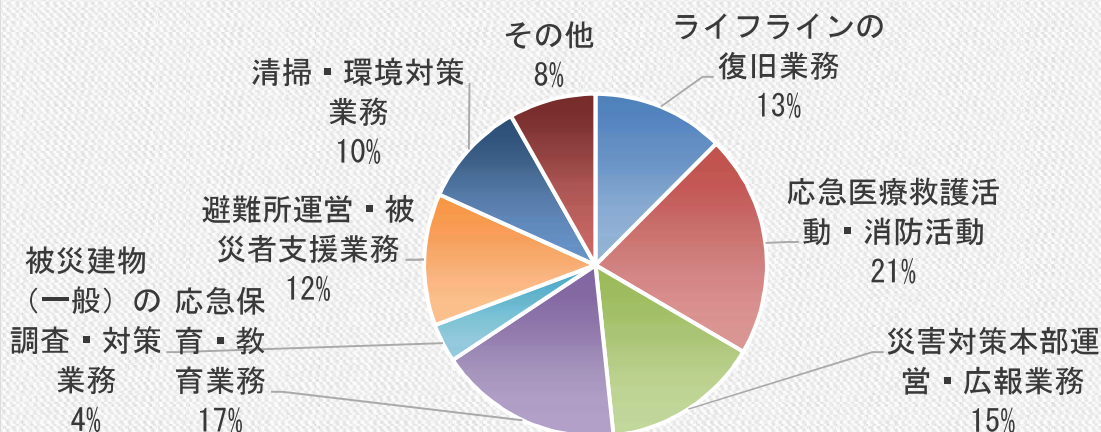


No.	設問	回答	count	rate
5	あなたは、ご自身が所属する部署の対応について、どのように評価しますか	概ね良かった	157	25.6%
		どちらかという良かった	237	38.6%
		どちらかという良くなかった	94	15.3%
		良くなかった	39	6.4%
		わからない	87	14.2%
		合計	614	100.0%
6	質問5で、「良かった」と思われた点(業務内容等)について、教えてください	ライフラインの復旧業務	41	12.5%
		応急医療救護活動・消防活動	69	21.0%
		災害対策本部運営・広報業務	49	14.9%
		応急保育・教育業務	57	17.3%
		被災建物(一般)の調査・対策業務	12	3.6%
		避難所運営・被災者支援業務	41	12.5%
		清掃・環境対策業務	33	10.0%
		その他	27	8.2%
		合計	329	100.0%
7	質問5で、「良くなかった」と思われた点(業務内容等)について、教えてください	職員の人員配置や配備体制に関すること	77	33.3%
		被害情報の収集・共有・広報に関すること	45	19.5%
		職員の防災意識・能力に関すること	31	13.4%
		災害復旧業務に関すること	49	21.2%
		その他	29	12.6%
		合計	231	100.0%

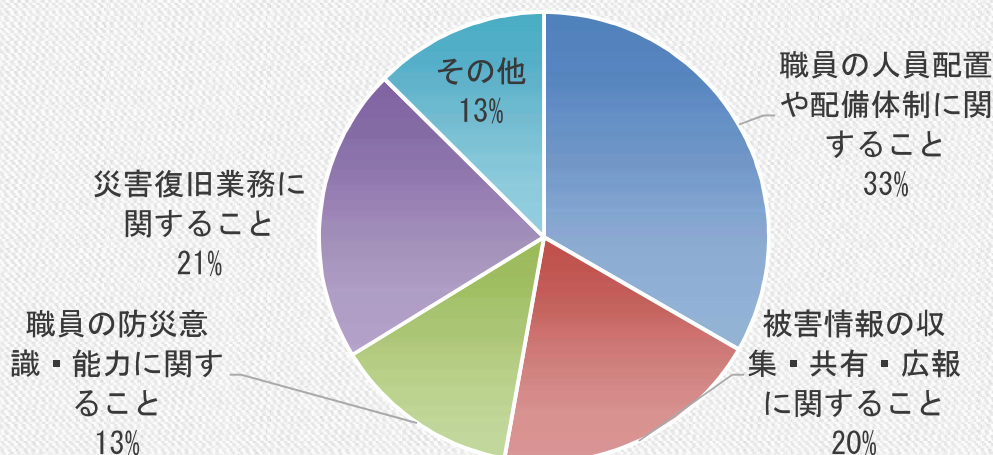
質問5 あなたは、ご自身が所属する部署の対応についてどのように評価しますか



質問6 質問5で、「良かった」と思われた点（業務内容等）について、教えてください

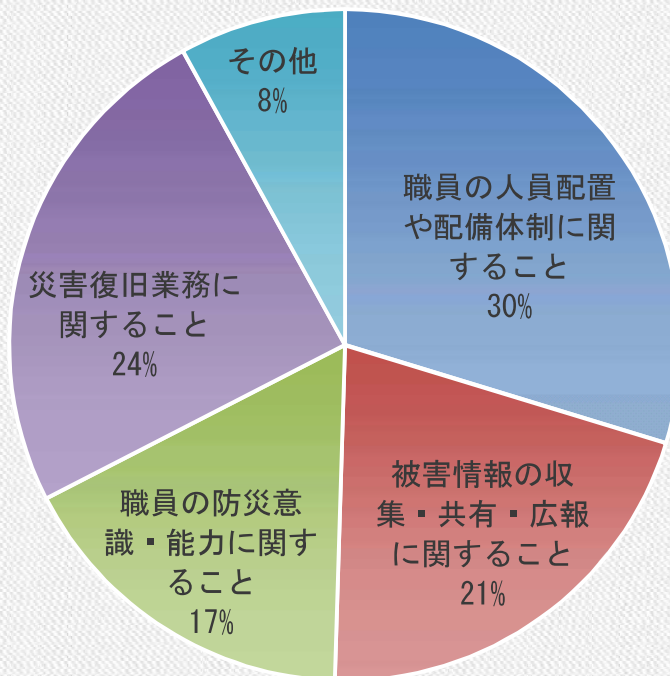


質問7 質問5で、「良くなかった」と思われた点（業務内容等）について、教えてください

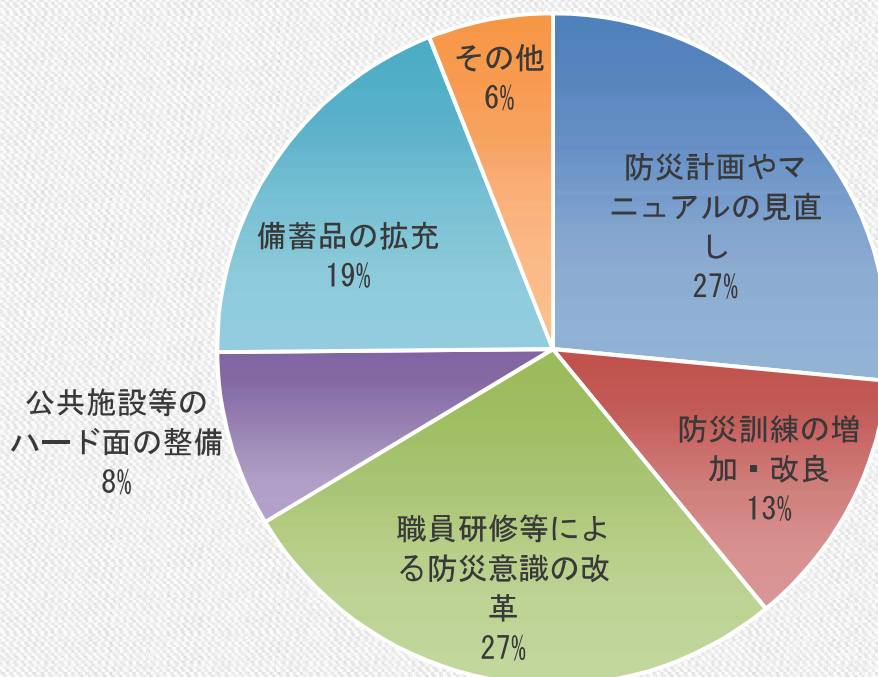


No.	設問	回答	count	rate
8	質問 5 で、「こうすれば良かった」と思われる改善点について、教えてください	職員の人員配置や配備体制に関すること	63	29.7%
		被害情報の収集・共有・広報に関すること	44	20.8%
		職員の防災意識・能力に関すること	36	17.0%
		災害復旧業務に関すること	52	24.5%
		その他	17	8.0%
		合計	212	100.0%
9	質問 5 で、「日頃から準備が必要」と思われる点について、教えてください	防災計画やマニュアルの見直し	97	26.5%
		防災訓練の増加・改良	46	12.6%
		職員研修等による防災意識の改革	100	27.3%
		公共施設等のハード面の整備	31	8.5%
		備蓄品の拡充	70	19.1%
		その他	22	6.0%
		合計	366	100.0%
10	各種防災訓練の中で必要だと思われる訓練はどれですか	総合防災訓練	210	17.7%
		避難所設置運営訓練	330	27.8%
		情報伝達訓練	345	29.1%
		災害対策本部設置訓練	245	20.7%
		その他	55	4.6%
		合計	1185	100.0%
11	質問 10 で、「その他」と思われた訓練について教えてください	自助に関する訓練	4	7.8%
		共助に関する訓練	7	13.7%
		災害時優先業務に関する訓練	12	23.5%
		災害復旧訓練	13	25.5%
		その他	15	29.4%
		回答	51	100.0%

質問 8 質問 5 で、「こうすれば良かった」と思われる改善点について、教えてください



質問 9 質問 5 で、「日頃から準備が必要」と思われる点について、教えてください



3 令和元年度の災害対応に関する自治会アンケート

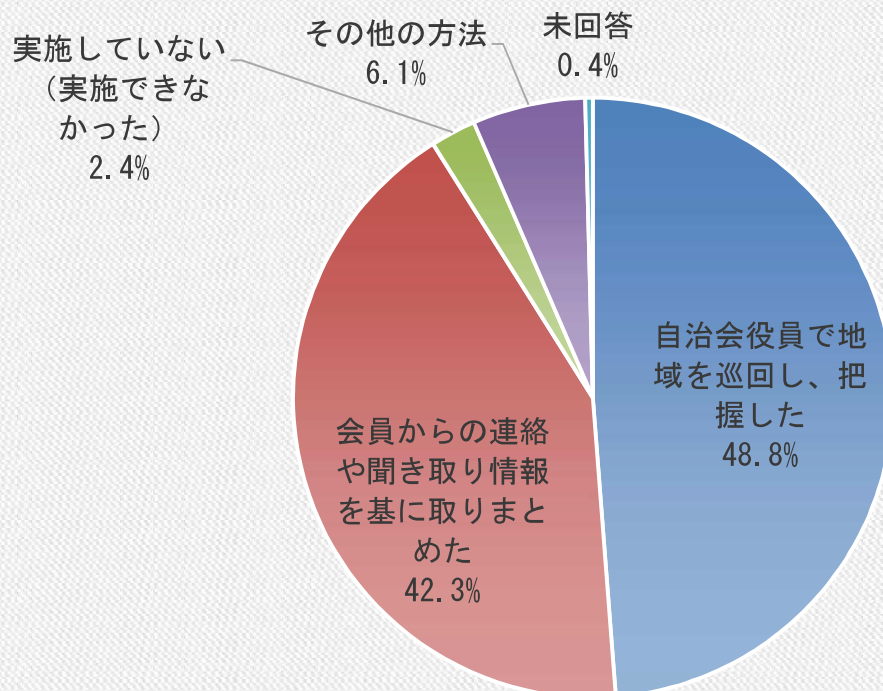
自治会長へのアンケートを実施

実施期間 令和2年2月6日～2月14日

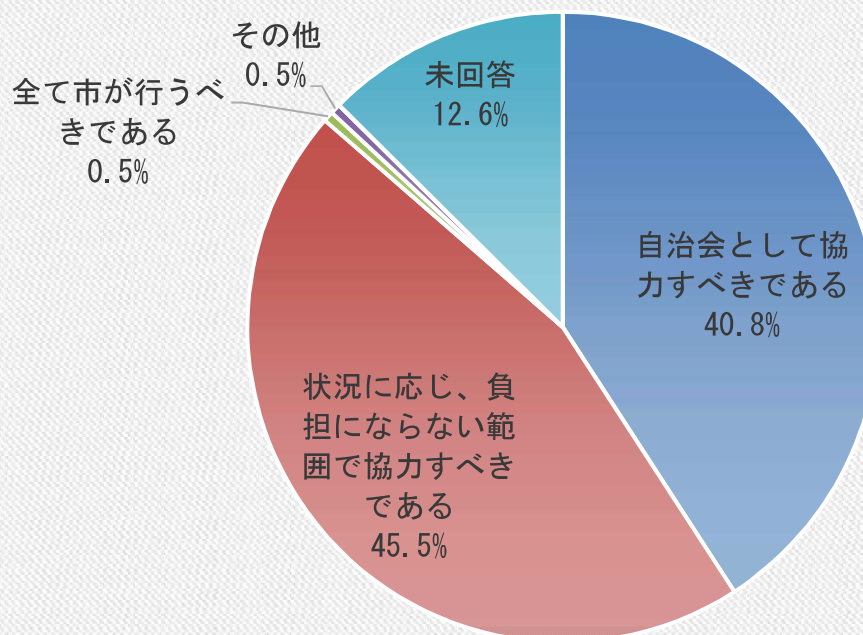
回収実績 対象者数 177名 回答数 152名 回収率 85.9%

No.	設問	回答	count	rate
1	今回の災害では、自治会に地域内の被害状況の把握と報告をお願いしたところですが、市からの依頼に対し、貴自治会ではどのように被害状況を把握されましたか？(複数回答可)	自治会役員で地域を巡回し、把握した	120	48.8%
		会員からの連絡や聞き取り情報を基に取りまとめた	104	42.3%
		実施していない(実施できなかった)	6	2.4%
		その他の方法	15	6.1%
		未回答	1	0.4%
		合計	246	100.0%
	質問1で、「その他の方法」と回答した方法について、教えてください	自治会長による巡回	13	81.3%
		班長による巡回	2	12.5%
		その他	1	6.3%
		合計	16	100.0%
	2	災害時に、市が地域の被害状況調査の協力を求めることについて、ご意見をお聞かせください。	自治会として協力すべきである	78
状況に応じ、負担にならない範囲で協力すべきである			87	45.5%
全て市が行うべきである			1	0.5%
その他			1	0.5%
未回答			24	12.6%
合計			191	100.0%

質問1 市からの依頼に対し、貴自治会ではどのように被害状況を把握されましたか？(複数回答可)

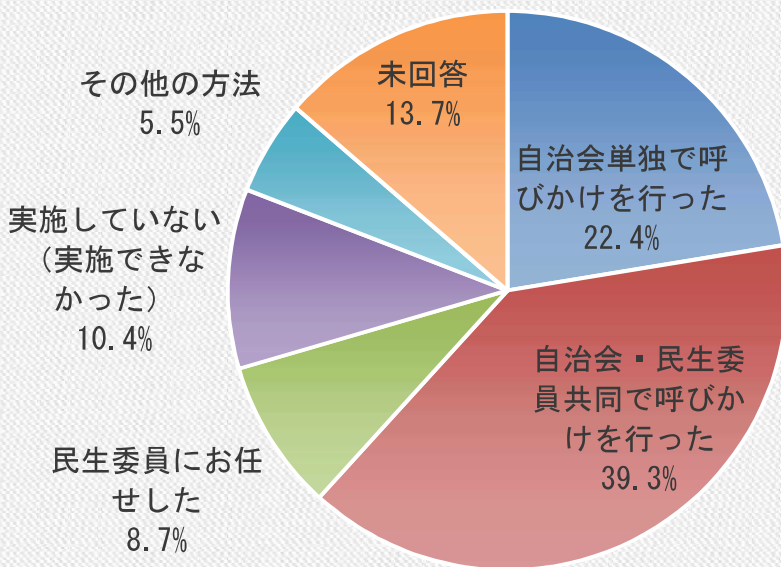


質問2 災害時に、市が地域の被害状況調査の協力を求めることについて、ご意見をお聞かせください。

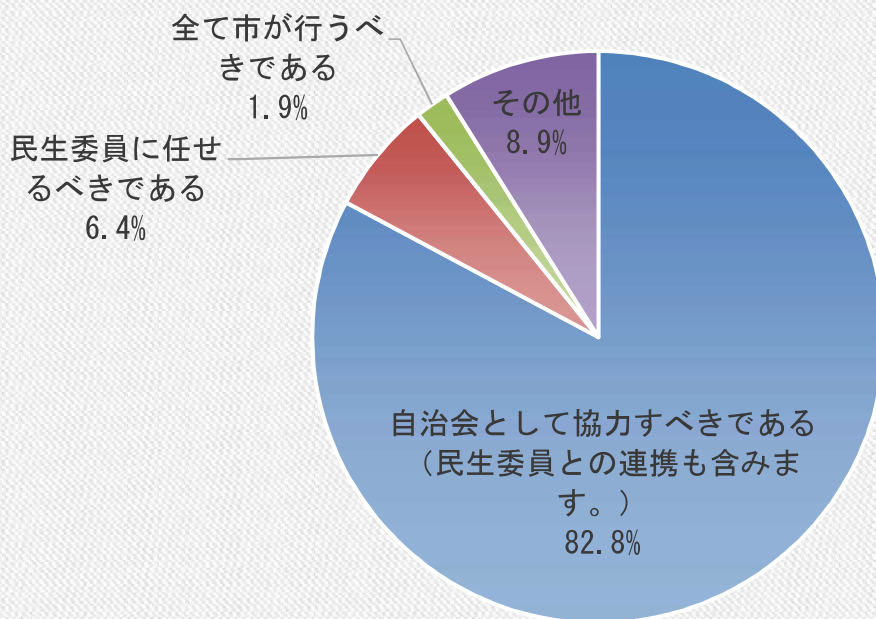


No.	設問	回答	count	rate
3	台風19号では、お年寄り等（要援護者）への避難の呼びかけ協力をお願いしましたが、貴自治会ではどのように取り組まれましたか？	自治会単独で呼びかけを行った	41	25.9%
		自治会・民生委員共同で呼びかけを行った	72	45.6%
		民生委員にお任せした	16	10.1%
		実施していない（実施できなかった）	19	12.0%
		その他の方法	10	6.3%
		未回答	25	15.8%
		合計	158	100.0%
	質問3で、「その他の方法」と回答した方法について、教えてください。	自治会長と班長で呼びかけ	1	9.1%
		民生員が呼びかけ	2	18.2%
		区長が呼びかけ	1	9.1%
		自治会長と民生委員で呼びかけ	1	9.1%
		自治会長が呼びかけ	2	18.2%
		独居老人のみ呼びかけ	2	18.2%
		その他	2	18.2%
	合計	11	100.0%	
4	災害時に、市が要援護者への呼びかけの協力を求めることについて、ご意見をお聞かせください。	自治会として協力すべきである（民生委員との連携も含みます。）	130	82.8%
		民生委員に任せるべきである	10	6.4%
		全て市が行うべきである	3	1.9%
		その他	14	8.9%
		合計	157	100.0%
	質問4で、「その他」と回答した意見について、教えてください。	地域で協力体制を整える	1	7.1%
		できる範囲で協力する	2	14.3%
		自治会長と市の職員で呼びかけすればよい	1	7.1%
		協力できない場合もある	2	14.3%
		身近な方の協力は必要	1	7.1%
		その他	7	50.0%
		合計	14	100.0%

質問3 台風19号では、お年寄り等（要援護者）への避難の呼びかけ協力をお願いしましたが、貴自治会ではどのように取り組まれましたか？



質問4 災害時に、市が要援護者への呼びかけの協力を求めることについて、ご意見をお聞かせください。



4 令和元年度の災害対応に関する自主防災会アンケート

自主防災会代表者へのアンケートを実施

実施期間 令和2年2月6日～2月14日

回収実績 対象者数 82名 回答数 72名 回収率 87.8%

No.	設問	回答	count	rate
1	今回の災害において、自主防災会で何らかの活動を行うことができましたか？	活動を行うことができた	39	54.2%
		活動を行うことができなかった	22	30.6%
		未回答	11	15.3%
		合計	72	100.0%
	質問1について、活動を行った自主防災会に伺います。活動内容は？ (※自由記入)	被害状況確認（巡回、報告、防犯パトロール）	14	26.9%
		片付け（家屋、公園内、樹木の伐採、道路に散乱している土砂、屋根瓦、スレート等）	15	28.9%
		自治会館を開放	2	3.8%
		自主防災会所有の発電機を使用し充電	3	5.8%
		物資、飲料水の配布、ブルーシートの配布・展張	4	7.7%
		安否確認	5	9.6%
		消防団と連携して活動	2	3.8%
		その他	7	13.5%
	合計	52	100.0%	
	質問1について活動を行うことができなかった自主防災会に伺います。活動できなかった理由は？ (※自由記入)	活動する内容が分からなかった (何をしてもよいか分からなかった)	1	4.5%
		自主防災会役員にお願いしたが、活動できないと言われた	1	4.5%
		大きな被害がなかった	3	13.6%
		自治会の活動範囲でよいと判断した	1	4.5%
		組織が不十分（マニュアルが確立されていないため）	6	27.3%
		個々で対応したため、活動はしなかった	1	4.5%
		自主防災会活動をする考えがなかった（自分のことでいっばいだった）	1	4.5%
		その他	8	36.4%
	合計	22	100.0%	
2	自主防災会活動の活性化に必要な要素は何と考えますか？	役員、会員の防災意識の高まり	43	59.7%
		他の自主防災会組織との連携や意見交換	2	2.8%
		組織内の活動ルール（マニュアル）作り	3	4.2%
		定期的な訓練や講習会の実施	6	8.3%
		継続的な活動や資器材等の更新に対する補助制度	1	1.4%
		その他	9	12.5%
		未回答	8	11.1%
		合計	72	100.0%

5 災害対応の振り返り及び各種アンケート等から見てきた課題とその対応

一連の災害の概要、地域防災計画に定める各班の対応結果や意見、各種アンケートの結果等を基に、主な課題とその対応を以下にまとめた。

No	区 分	課 題	対 応
1	本部運営	災害対策本部室が狭隘（関係団体のリエゾン等、応援職員が待機するスペースを考えると、現在の災害対策本部室は狭隘。）。	601会議室を活用し、十分なスペースを確保する。
2	本部運営	災害対策本部室の情報共有ツールが不足している（被害状況等を書き出すホワイトボードや雨量情報等を共有するためのディスプレイが不足している。）。	ホワイトボードやディスプレイ等の増設を行う。
3	本部運営	停電時の電源車要請に課題あり。電力会社所有車両であり、本市の要望が100%満たされるものではないことや電源車の規格と施設の規格の整合性や技術者の配置等の問題がある。	東京電力と協定を締結し、スムーズな対応がとれるように情報共有をしておく。
4	本部運営	地域防災計画上、現地対策班（現地災害対策本部）の業務範囲や担当職員等が明確になっていない。	地域防災計画を見直し、業務範囲や担当職員等を明確にしておく。
5	避難所運営	台風の場合、避難者による運営ができない。 避難所の運営は、避難者で行うことになっているが、台風の場合、流動的な避難者が多く、長期避難にならないので、避難者による運営ができないという問題が生じた。 結果、対応する職員の割り当てに多くの労力を割くことになってしまった（避難所担当者も交代が必要。）。	地域防災計画を見直し、交代要員を含めた避難所担当者の割り当てについて明記する。

No	区分	課題	対応
6	避難所運営	<p>備蓄倉庫の物品が十分に活用されなかった。</p> <p>交代要員の関係上、正規の避難所担当者以外の職員が避難所対応に当たったため、備蓄倉庫の物資が十分に活用されず、主に本部（物資対応班）で物資の移送等を担った。</p> <p>そのため、必要以上に多くの労力を割かなければならなくなった。</p>	<p>地域防災計画を見直し、交代要員を含めた避難所担当者の割り当てについて明記し、避難所の運営方法を理解した職員が対応にあたることのできるようにする。</p>
7	避難所運営	<p>ペットの受け入れルールが風水害を想定したものになっていない。地域防災計画上、ペットの受け入れは屋外で行うことになっており、原則として、建物内への持ち込みは禁止されている。</p> <p>しかしながら、風水害時に屋外で受け入れるのは、現実的ではない。</p>	<p>風水害時のペット受け入れに対応できるよう、地域防災計画や避難所運営マニュアルを見直す。</p>
8	避難所運営	<p>19号接近時は多くの避難者が発生し、満員で入れない避難所が多発した。避難所の開設・運営方法を見直す必要がある。</p>	<p>一次開設時点から多くの避難所を開設できるよう、地域防災計画を見直す。</p>
9	避難所運営	<p>福祉避難所の受入基準が市民にとって分かりづらい。医療行為が必要な方の取り扱い等で問題が生じた。</p>	<p>地域防災計画を見直し、福祉避難所の受け入れ基準を明確にする。</p>
10	避難所運営	<p>学校職員と避難所担当との役割分担等、事前の打合せができていない。</p>	<p>学校側と対応方法等について整理する。</p>
11	避難所運営	<p>君津市民文化ホールは、「避難場所」に指定されているが、台風15号の際には給水場所、自衛隊入浴施設、19号の際には「避難所」として使用した。</p> <p>指定管理者側の営業に影響が生じる可能性がある。</p>	<p>協定書等により災害時の対応について整理しておく。</p>

No	区 分	課 題	対 応
12	避難所運営	避難所のバリアフリー化が十分ではない。	障害者用トイレや段差解消用のスロープの配備を進める等、必要な予算措置をし、対応する。
13	電源・燃料確保	ガソリンが手に入れづらくなった。 しかし、ガソリンは長期保存に向かないことや消防法の関係で 40ℓを超えて保管する場合、建物の大幅な改修が必要となることから、大量に備蓄しておくことは現実的でない。	LP ガス等、ガソリン以外の燃料の確保も視野に協定締結等により調達体制の強化を図る。
14	情報収集・伝達・共有関係	停電により、本庁舎のインターネット回線からホームページシステム及びメール配信システムへの接続ができなくなった。また、ネットワークドライブへのアクセスもできなくなった。	停電時でもシステムダウンを起こさないために必要な通信環境を確保できるよう、非常用発電等の電源対策を講じる。
15	情報収集・伝達・共有関係	屋外拡声子局（防災行政無線）のバッテリー能力は 72 時間となっているため、長期停電による充電切れで放送ができなくなる子局があった。 また、倒木等によって引き込み線の断線、アンテナの故障が発生し、放送ができなくなった。	長期停電でも情報発信ができるよう、中継局の電源対策を講じるとともに、戸別受信機の配備を進める。 また、倒木等による電柱や電線の損壊を防止するための計画伐採について、東京電力と協定に向けた協議を進める。
16	情報収集・伝達・共有関係	防災行政無線（屋外拡声子局）は、天候によって聞き取りにくい場合がある。	戸別受信機や登録制メール、SNS 等、情報発信手段の多重化を図る。
17	情報収集・伝達・共有関係	HP 更新・メール配信・防災ツイッター投稿など各媒体での情報発信作業が膨大で、かつ迅速性も求められたが、かつてない災害の大きさから、必ずしもタイムリーかつ正確な情報発信になっていなかった。	情報発信ルールのマニュアル化を進めるとともに、一度の情報入力により複数媒体で情報発信できるようなシステム構築についても検討を進める。

No	区 分	課 題	対 応
18	情報収集・ 伝達・共有関係	災害情報を迅速に市議と共有することができなかった。	対応方法について、マニュアル等を整備する。
19	情報収集・ 伝達・共有関係	災害時においては、複数のセクションで情報を共有しながら対応する必要があるが、防災用 GIS 等、情報共有のためのツール整備が不十分。	防災用 GIS 等の導入について検討を進める。
20	役割分担 (班担当業務)	電話対応を行う班が明確になっていない。 危機管理課職員が電話対応を行ってしまうと、本部運営にかかる業務を応援職員が担うことになり、本部の動きを危機管理課職員が把握しづらくなる。 結果、指示系統が混乱し、対応にも混乱が生じてしまう。 また、避難所や行政センター等のコミュニケーションにも支障が生じる。	適切な役割分担ができるよう、地域防災計画の見直しやマニュアルの整備等を進める。
21	役割分担 (班担当業務)	地域防災計画では、災害時の事務分掌を定めており、セクションごとの分担任務を定めてあるが、物資の受入や移送等、必ずしも、分担どおりの動きとはなっていない。	通常業務のうち、災害時に休止する業務等が明確になっていなかったことから十分な人員が確保できず、臨機応変な対応をせざるを得なかったものと考えられる。 今後、災害時優先業務(災害対応業務+継続通常業務)や休止業務の整理を行い、十分な人員を確保し、分担どおりの動きが取れるようにする。
22	役割分担 (班担当業務)	報道対応については、その多くを危機管理課職員で対応していたため、本部業務に手が回らず、本部運営にかかる業務は応援職員が担っていた。 結果、本部の動きを危機管理課職員が把握しづらくなってしまい、指示系統が混乱し、対応にも混乱が生じてしまっていた。	適切な役割分担ができるよう、地域防災計画の見直しやマニュアルの整備等を進める。

No	区 分	課 題	対 応
23	役割分担 (班担当業務)	本部対応、避難所担当、物資担当等の人員配置については、長期化を想定した配置計画が事前にできていなかったために苦慮した。被災後はそれぞれの部局での災害対応業務に追われ、個別の避難所担当等の割り当てがスムーズに行えないという課題があった。	あらかじめ、長期化を想定した人員配置計画等を策定しておく。
24	役割分担 (班担当業務)	水道事業の統合により庁舎内に水道を所管する部署がなくなったが、災害時における、かずさ水道広域連合企業団との連携体制が十分なものとなっておらず、企画班で対応することとなった。	かずさ水道広域連合企業団と災害時の対応について協議し、適切な連携体制を構築する。
25	役割分担 (班担当業務)	避難所には開設・運営担当者が指定されているが、計画上是施設を所管する部が開設等を行うこととなっており、実態との矛盾があるため整理すべき。	地域防災計画を見直し、実態にあった班担当業務とする。
26	物資関係	物資の在庫管理が不十分な部分があったので、訓練等を通し、出納簿への記入を徹底する必要がある。	物資受入や供給に係る訓練を実施する。
27	物資関係	ブルーシートの配布ルールの徹底化が必要。多くの市民が詰めかけ、順番や配布枚数で争う状況も発生し、担当職員にかなりの負担を掛けてしまった。	避難所運営マニュアル等を見直し、物資の配布ルールの明確化を図る。
29	インフラ 被害関係	必要な数の車両が確保できなかったこと等により、全ての被災箇所の把握に時間を要した。	車両のレンタルにより確保できる可能性があるため、対応方法を整理し、周知しておく。
30	施設整備	避難所(公民館)に停電時の自家発電設備がなく、雨漏りもひどかった。	可搬式発電機の配備体制を強化し、施設の修繕を進める。

No	区 分	課 題	対 応
31	災害廃棄物	災害廃棄物の仮置場運営には、多くの作業員が必要であり、担当課職員だけでは対応しきれず、他部署からの応援に頼ることとなった。	実績をもとに地域防災計画上の班担当業務の見直しを行う等、応援体制について整理しておく。
32	B C P 関係	2か月以上の間、納税課・課税課の通常業務のほとんどを停止してり災証明業務にあたったため、通常業務が滞ってしまった。	災害時優先業務（災害対応業務＋継続通常業務）や停止業務について整理し、B C Pの策定を進める。
33	B C P 関係	災害時優先業務（災害対応業務＋継続通常業務）と停止業務の区分ができておらず、災害対応業務に十分な人員を動員できる体制が整っていない。	災害時優先業務（災害対応業務＋継続通常業務）や停止業務について整理し、B C Pの策定を進める。
34	受援関係	東京都の対口支援に対して、受け入れる君津市側の準備が整っていなかったため、当初は十分な説明ができず、応援職員の自力に任せる部分が多々あった。	受援計画の策定を進める。
35	共助	自主防災会アンケートにより、3割程度の自主防災組織については、活動ができなかったということが明らかになった。	防災講座や地区防災計画の策定等を通して、防災意識の向上を図る。
36	その他	災害時においては、計画通りに対応できないこともあるため、各々の判断で臨機応変に行動することも必要だが、職員の中には、指示がなかったから動かなかった等、受け身の体制で、自分事化できていない意見が散見された。	各種訓練により、防止意識や災害対応能力の向上を図る。
37	その他	食料、飲料水、ブルーシート等、救援物資をもらえて当然という意識の市民がいるが、公助には限界がある。自助を促す取り組みをしていかなければ、より大きな災害には対応できない。	防災講座等を通し、自助の意識向上を図る。

No	区 分	課 題	対 応
38	その他	民生委員だけで、要援護者全員の安否確認や物資配布を行うことは大きな負担を掛けている。	自主防災会や消防団等、地域の関係者間で協力体制が構築できるよう、あらかじめマニュアル等を作成し、訓練しておく。

6 おわりに

本報告書は、令和元年台風15号、19号及び10月25日の大雨による一連の災害について、その概要と市の対応を振り返り、そこから見出された課題について整理したものです。

本市は、地域防災計画に基づいた本部体制を組織して指揮統制を図るとともに、全職員が一丸となって、現場対応にあたりましたが、初めて激甚災害の指定を受けるなど、これまでに経験のない規模の災害対応となったこともあり、ソフト・ハード両面にわたり、様々な課題が浮かび上がりました。

その中で、長期間の停電により情報通信網が遮断され、市民への情報伝達が困難になってしまったことや、長期間の災害対応に市職員の配備が追い付かず、マンパワー不足に陥ったこと、また、災害発生初期における地域内の共助活動において、自主防災組織がその役割を果たすことができなかつた地域が散見されたことなどは、いつ起きるか分からない次の災害に備えるためにも、早急に対応策を講じるべき課題であると認識しています。

そのほか、今回の災害対応において明らかになった課題に対しては、市役所内部にとどまらず、関係機関との連携を深めながら、適切な対応策について検討を進め、とりまとめた内容については、組織全体でフォローアップを行いながら、地域防災計画の修正に反映させるとともに、不断の見直しを継続してまいります。

また、市民参加の実践型防災訓練の実施、市職員の防災意識向上のための研修、地域防災力向上のための地区防災計画策定に向けたワークショップの開催等を通じて、君津市としての防災対策の充実・強化を図るなど、真に災害に強いまちづくりに全力で取り組んでまいります。

令和元年9・10月の風水害に関する報告書
(台風15・19号、10月25日の大雨)

編集

総務部危機管理課

君津市久保2丁目13番1号(〒299-1192)

電話 0439-56-1290

